

平成27年4月12日執行

山形県議会議員選挙

鶴岡市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

鶴岡の願い県政へ、安倍暴走ストップ



せき
関とおる
日本共産党

前回、日本共産党の鶴岡の県議を失い、鶴岡の声を県政に十分反映できず、悔しい思いをしました。

消費税増税、TPP参加、戦争する国づくり―安倍暴走政治が押し寄せるなか、国いいなりの県議ばかりでは、くらしも平和も守れません。私、関とおるをみなさんのお力で県政へ送ってください。

新しい県議会に提案します

●国保税引き下げを
介護保険の負担軽減を

●子ども医療費は
高校卒業まで無料に

●看護師・医師の養成と
確保を

●対象工事を広げ、住宅リ
フォーム助成制度拡充を

●TPP撤退、県独自で米
の売り渡し価格に上乗せ

○消費税10%はきつぱり中止

○「戦争する国づくり」ノー
憲法9条を守りぬきます

○「原発ゼロ」、
再稼働ストップ

関とおるプロフィール



◆1960年三和町生まれ。長者町在住。朝陽一小、第三中、鶴岡西高、文教大学卒。
◆庄内医療生協に就職。山形県労連副議長など歴任。◆鶴岡市議3期。
第一学区学童保育所保護者会相談役。



地域の視点に立ち県政に取り組みます



自由民主党公認
あべ
阿部のぶや

大変厳しい時代が続いておりますが、いかなる時代が待ち受けようと「挑戦すればこそ道が開かれる」信念のもと、二十四年間の経験を生かし、活力ある地域づくりを目指して県政に取り組んでまいります。

県政に確かな力を

●農林水産業の資源を生かした
6次産業の活性化と農業の振興

●地方創生 知恵とやる気の元年。
若者の定着と県内回帰

●商工業の振興・地場企業の振興

●観光産業の振興（自然・文化・歴史）

●教育文化の振興・福祉環境の整備
真の豊かさを求めて

●子育て支援・健康福祉の充実

豊かな経験と実績

信頼・責任と
これまでの実績

地域活性化対策特別委員会委員長
建設常任委員会委員長
農林水産常任委員会委員長
予算特別委員会委員長
議会運営委員会委員長
山形県監査委員
庄内議員団協議会会長
県議会副議長（第49代）
県議会議長（第27代）
自由民主党 県議会議員総会長
地域高規格道路・新庄酒田
建設促進議員連盟会長



しだ
志田ひろし
(64)

地方創生は、地方が考え発信すべきです。

地方創生の根幹は、人口減少対策です。山形県の20年後の推計人口は、90万人を割るとされています。そのためには、雇用創出や農林水産業を始めとする産業振興を進めて行かなければなりません。特に、県と鶴岡市が取り組んで来た慶応先端研連では、約3000人の雇用を創出、今後急速な成長が見込まれています。また、県内企業には、すばらしい技術やノウハウを有する会社があります。企業の発展成長をしっかりと支援して行くことが大事です。一方、県内産業を担ってきた農林水産業は、大きな変革の時代を迎えています。消費者ニーズに、よりの確に対応出来る支援体制づくりも急ぐ必要があります。そして欠かせないのは、交流人口の増加への取り組みです。そのためには交通網を整備し、全国的イベントの開催や観光促進をより手掛け行かなければなりません。この様な多くの課題を総合的に連鎖させ、ひとつひとつ乗り越えてこそ、山形県地方創生の方向性を見出すことが出来ると思います。今こそ地域力を活かし、その土台づくりをしっかり取り組む時なのです。

しっかりと取り組んでまいります。

●県は、県内企業へ研究開発、販路拡大支援を行っていますが、販路拡大については、認証を前提とした知事によるトップセールス制度の確立が必要です。

●山形県は転出超過で、特に若い女性の割合が高くなっています。回帰への環境整備や的確な情報の発信、窓口の整備強化に努め、若者の県内就職の環境づくりに努めます。

●若年層所得の安定化や、正規雇用化への促進施策の充実を目指します。

●消費者ニーズに応えるためには、農家負担が少ない基盤整備やオーガニック型支援の継続など、競争力のある農業づくりの環境整備が大切です。

●将来的に、集落形成の維持が困難になりつつある地域が出て来ている。それは、その地に生活の糧やなりわいが薄れているからです。森林の利用や再生エネルギーとしての活用も視野に入れ、総合的な対策の立案に努めます。

●提言して決定した全国豊かな海づくり大会が、庄内でも来年開催されます。漁港漁場の整備、ブランド化に基づく販路拡大、高額の設備投資に対する支援対策等、引き続き取り組んでまいります。

●福井県では、第3子以降の子の3才までの保育料は、無料化されています。保育料の軽減・減免対策などはじめ、子育て支援の充実・強化を図ります。

●介護が必要とされる方々は、10年後に約8万人と推計されています。中でも今後、患者増が見込まれる認知症対策が重要とされます。県は医療・福祉・地域社会が連携した地域包括ケアシステムに取り組みしていますが、充実を求めます。

●県は、インクルーシブ教育へ向けての基礎データとなる教育的支援を必要とする児童生徒の割合調査を行っています。その必要性を質して来ましたが、また、県内特別支援学校からは、多くの施設整備等が寄せられています。引き続きしっかりと取り組みます。

●交通網整備については、日東道県境部工事着手を目指して計画的要請活動を展開します。温海地区の調査費計上の2路線については、芽出しが出来る様努めます。庄内空港の東京5便化については、地元関係者と連携を図り、取り組みます。新潟駅の同一ホーム対面乗換は、予定通り平成30年の暫定供用を目指します。

平成27年4月12日執行

山形県議会議員選挙

鶴岡市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会



佐藤さとし

46歳

山形県政に

新風を!!

今を見つめ、未来を見据え、
次代に夢と希望をつなげます。

大地の恵みを活かします

農林水産品のブランド化、6次産業化を推進し生産者の所得向上につなげます。
農山漁村の魅力に磨きをかけ、人の交流や都市からの移住を進めます。

地域産業を伸ばします

地元企業、地場産業の力を更に引き出す施策を展開していきます。
最先端の生命科学研究から生み出される新たな産業創出を支援します。

学びを広げます

子供の基礎的な学力、体力向上とともに、伝統文化や歴史、地域への関心を高め、豊かな人間性をもつ人材を育てます。

高速交通網をつなぎます

日本海沿岸東北自動車道県境部の早期開通、庄内空港の更なる活性化、JR羽越線の高速化を強く働きかけます。

「観光力」をみがきます

近隣県と連携し、広域観光圏としての認知度を高め外国人を含めた滞在型旅行者を呼び込みます。

地域エネルギーをつくります

地域資源を活かしたエネルギーとして、木質バイオマス、小水力、風力エネルギーなどの導入を進めます。

暮らしを支えます

働きながら安心して子供を産み、育てられるよう子育て支援策の充実を図ります。
高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう活動の場づくりを支援します。

防災力を高めます

地震や豪雨、台風に伴った治水対策、津波対策を着実に進めるとともに、行政の危機管理体制を強化します。

佐藤 聡プロフィール

鶴岡市立西郷幼稚園 西郷小学校 西郷中学校 県立鶴岡南高等学校卒業
平成3年 早稲田大学政経学部政治学科卒 同年 日本航空株式会社入社
東京国際空港 関西国際空港 中国・北京支店 本社・空港業務部に勤務
平成17年 同社退職 同年 鶴岡市議会議員選挙で初当選(連続3期)
新政クラブ政調会長、新政クラブ副団長 産業建設常任副委員長、
厚生常任委員会副委員長 総務常任委員長を歴任

佐藤さとしのフェイスブックをご覧ください。 <https://www.facebook.com/satoshi.sato>

自然と共生、いのち優先。持続可能な鶴岡、山形へ



無所属
くさ じま しんいち
草島進一

50歳

信念と行動力

人口減少、格差拡大、放射能汚染、急激な社会変化。
「今、次世代に何を手渡すか」が問われています。

草島は、大震災後の災害対策、鶴岡の水問題、小国川ダム問題など、常に現場に立ち、真実を掘り起こし、問題解決のために力を尽くしてきました。

今後、行動する政治を貫きます。
私は、鶴岡の「持続可能な」未来のために、自然エネルギーによる自立と食の地産地消で、流出する富を地域で循環させる自給圏構想で、豊かな地域社会を実現します。
次世代が希望をもてる未来をみんなで切り拓きましょう。

しがらみのない市民目線で県政改革

オール与党体制の県議会、唯一人ダム予算に反対してきました

- 市民の目線で山形県政をチェック
- 人口減少で破綻状態の広域水道事業の見直し
- 清流を破壊し、未来を破壊する、小国川ダムの見直し

暮らしを守る。「絆」社会

- 格差・貧困の拡大を是正
- 「想定外」をつくらない防災・災害対策
- ひきこもり支援対策の充実 非正規雇用の解消
- 平和憲法を守る。 TPP絶対阻止

自然の恵みを活かす 自然資本経営

- 地下水を保全し、恵みを食文化に活かす
- 生産者と消費者の絆の強い農・水産業へ
- 森・川・海連環の再生、生物多様性保全を推進
- 出羽三山の精神文化と食文化を世界に発信!

脱原発、自然エネルギー自立こそ地方創生

- 鶴岡市の暖房の灯油使用で年55億円が流出
- 森林バイオマス(薪)利用に転換し雇用創出
- 地域主導の自然エネルギー事業で新経済、雇用創出

応援しています

政治の再建は一人から始めるしかない。フットワークのいい草島君に期待しています。
21世紀にふさわしい「いのちと緑の政治」はこの人から始まった。活躍を期待しています。
持続可能な庄内モデルは、自然資本を大切にすることから。庄内にグリーンパワーを! 映画監督 渡辺 智史

市民派 草島進一 プロフィール

1965年鶴岡市鳥居町生まれ/鶴岡南高等学校卒/明治大学農学部卒/雑誌編集者の後、95年阪神淡路大震災直後より3年間救援活動(神戸元町)副代表/99年より3期10年鶴岡市議会議員/2000年鶴岡水道住民投票運動/04年中越大地震で救援活動/2011年東日本大震災翌日より名取、石巻市で救援活動/11年山形県議会議員/羽黒山伏3度位 山伏名(進佑)



みなさまの声をストレートに県政へ!!

私が進める5つの約束 promise

農林水産業 食の安全・安心

海・山・川、自然の恵みを次世代に守り育み、多様な経営展開を支援し、農業・林業・水産業の振興を図るため、担い手の育成と基盤づくりを強化します。

経済 地域経済の活性化

中小企業を更に支援し基盤強化を図ることで、地域の新たな雇用を創出し地域経済の活性化に取り組みます。

教育 学校と家庭・地域との連携・協働

子育て支援や仕事と家庭の両立支援、男女共同参画社会づくりの支援を推進し、グローバル化する社会に対応できる人材の育成に取り組みます。

福祉 まごころの福祉

希望の多い高齢者特養ホームの入所待機者の解消・共生型ホームの計画的整備・介護職員の処遇改善、障がいの有無等に関わらず、共助・共創・共生する具体的な体制の構築に取り組みます。

社会基盤整備 暮らしを支える 県土づくり

未整備区間の高速交通網の早急な整備や近年の集中豪雨など、災害による河川等の復旧、冬に強い地域づくりなど、自然・文化・景観と調和しつつ足腰の強い県土づくりに取り組みます。

次世代へ



〈略 歴〉

- 1969年 山形県立庄内農業高等学校卒業
- 1973年 第3回県青年海外派遣に参加
- 1990年 藤島町議会議員初当選 四期 副議長
- 2002年 藤島町長就任 一期
- 2007年 山形県議会議員就任 二期
- 2009年 厚生・文化常任委員会委員長
- 2010年 農林水産常任委員会副委員長

〈現 職〉

- 2010年 県政クラブ代表
- 2014年 議会運営委員会副委員長
- 山形県立庄内農業高等学校同窓会 副会長
- 鶴岡市藤島バレーボール協会 顧問
- 日本空手協会山形県本部 顧問

昭和26年3月8日生 64歳



民主党公認
あべ昇司

しょうじ

変わらぬ初心、
重ねた経験。
未来へ責任!

